

## 物語をつくれ ―HR合宿によせて―

校長 島崎 英夫

台風の時季に飛行機で大勢が行き来する旅行は、思った以上にハプニングが起きます。以前勤めた学校の修学旅行がそうでした。10時の出発予定が15時まで延びて結局その日飛行機は飛ばず、一泊目は北海道のはずが大阪箕面の温泉になりました。でも、生徒たちは苦境にめげず、トラブルで始まった旅行を、共通の物語でいっばいの、思い出の日々に変えてくれました。

苦難を楽しさに変成するためには、先生方の機敏な判断についていける生徒諸君の反応力、自分のことだけでなく、みんなのことを考えられる想像力、そしてどんなことにも面白さを見つけようとする知的好奇心が必要です。10月21日からの4日間、68期生諸君の「物語づくり」のチカラがどれだけ育っているか、楽しみに見たいと思います。

宮古島といえば、自然や生き物、マリン・レジャーなどに目が行きがちですが、琉球王国時代や薩摩統治時代、人頭税をかけられた明治のころ、米国統治時代など琉球弧が揺らぐと東アジア全体がざわめく複雑な歴史の層も知得してほしいですし、大阪とは一味ちがう「夕凧（ゆーどうりい）の島」の生活のさまも体感してほしいと思います。

物語づくりの舞台は最高です。団体旅行の猥雑さではなく、集団づくりの清々しさを宮古島に沖縄本島に残していきましょう。そうして、仲間の明るさや生徒たちの温かさを感じ取れる物語を、一人一人、またみんな紡いでいきましょう。